

令和6年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 1

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。
令和6年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈知 育〉

○ 主体的に学び確かな学力を身に付けた児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	1 授業の充実 「思考力・判断力・表現力育成」 「ICT・タブレット活用」 「全員参加の授業」「習熟を図る場面等」の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 授業に落ち着いて集中する子どもたち、苦手なことにもあきらめずに取り組む子供たちが増えている。 研究主任のアイデアで研修を楽しく、負担なく実施することができた。研究の焦点化を図り、さらに授業づくりの学びを深めたい。 思考力・判断力・表現力育成」や「習熟を図る場面等」の拡充」はこれからも継続して研修を深めて育必要がある。 	3.13	3.47	3.63	<ul style="list-style-type: none"> 学級内の学力の個人差が大きいと感じることもありますが、担任の先生方が粘り強く、丁寧に指導をされており、先生方の熱意が子どもたちの学力向上につながっていると感じます。 学びたい度の「将来の夢や希望、人の役に立つ人間になりたいか」の項目が昨年度より上回っていました。目標を持つことは大事なことだと思います。
	2 家庭学習の充実 「精選」 「タブレット持ち帰りによる宿題：水曜日」	<ul style="list-style-type: none"> 週末宿題をなくしたことで、平日の宿題の提出率が良くなっている。平日のみの宿題を今後も続けて欲しい。 適度な家庭学習でよい能力が高い子ども達へ、もう少し負荷をかけてもいいのではないかな。 タブレットはスマイルネクストになりしやすくなった。ただ、毎日持ち帰りとかになると厳しいと感じる。 	3.38	3.36	3.13	<ul style="list-style-type: none"> 週末の宿題の廃止により、平日の提出状況がよくなっていることは、よい傾向だと思います。
	3 読書活動の充実 「家庭と連携した読書」 「読み聞かせ」 「新聞活用」	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の取組が、保護者にとってもゆっくり読書をする機会になっていた。 学級によって、貸出数に差がある。 新聞活用があまりできなかった。 	2.87	3.55	3.00	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より貸出冊数が少し減っているが、年間図書貸出冊数100冊以上の児童が184人もおり、しっかりと学校での読書推進が図られています。
	4 学力調査等の活用 「分析を生かした指導」 「過去出題問題の活用」 「情報量の多い問題の積極活用」	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストは目標平均は超えているが、個人差があり、個人差が大きい。 国語や算数の授業で、学力調査やCRTを意識した問題（発問）を設定した。 宿題等で学力調査に向けての指導をしているが、解説等が必要でその時間設定が難しい。 教科書の問題をするので精一杯で応用問題、活用問題の時間を確保するのが難しい。 	2.93		3.50	<ul style="list-style-type: none"> 教科書以外の取組を行う時間の確保が難しいようですね。

5 特別支援教育の充実 「特別支援教育支援員や学校非常勤講師の有効活用」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて支援員の先生が入って個別に支援をしていただけるのでありがたい。 ・ 支援学級の児童に関する担任同士や支援員との連携が不足して問題が起きた場面がいくつかあったので、今後、密に連携できる体制の改善が必要である。 	3.00	3.41	3.00	○ 様々な子どもたちがいるなかで、1人ひとりに応じた指導は難しいと思います。
6 学習のしつけの徹底 「授業」「家庭学習」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学習に対する取り組み方は、身に付いてきている。 ・ 鉛筆の正しい握り方の声掛けを継続して行っているが、なかなか正しく持つことができない。 ・ 鉛筆の持ち方については、幼保小連携及び家庭を巻き込んで取り組む必要がある。 	2.80		3.25	○ 正しい鉛筆の握り方は、昨年度よりよくなっていますが、はしの持ち方と同様に家庭はもちろん幼保小と連携して指導することが必要だと思います。
7 一部教科担任制等による指導の充実 「交換授業」「各種専科」等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部教科担任制は学年の児童理解の充実や教材研究を深められ大変良かった。 ・ 専科の時間に主要教科の準備ができたり、教材研究の負担が減ったりするなど、働き方改革にもつながっている。 ・ 子どもたちをいろいろな先生に見ていただけるのがありがたい。 	3.60		3.63	○ 専門的な指導を受けることにより、児童の意欲的な取り組みが見られると同時に先生方の働き方改革につながっていると感じます。
8 キャリア教育の充実 「小林キャリア教育センター」 「KSSVC」「地域人材・団体」 「学習支援ボランティア」の活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携することで、豊かな体験活動を充実させることができた。 ・ 学習支援ボランティアの方々にたくさん助けていただいていたありがたい。 	3.44	3.52	3.50	○ 地域と連携して昔の遊びや音楽鑑賞など様々な体験が多く、キャリア教育・地域の大人への信頼や理解、地元愛につながる活動と、子どもたちの心の成長にもプラスの影響がたくさんあると思います。

令和6年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 5

学校経営 ビジョン	○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。 令和6年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』
--------------	--

〈その他〉 ○ 服務規律の徹底と子どものための働き方改革の推進

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
そ の 他	1 服務規律の徹底	・ 職員1人ひとりがコンプライアンス意識を高く持っていることにより、非違行為等はなかった。	3.81		3.00	特になし
	2 働き方改革の推進 「業務の精選」「SSS及び学習支援ボランティアの積極活用」「宿題改革」「起案～決裁の効率化」	・ タイムマネジメントを行い、仕事をする職員が増えてきた。 ・ 業務の精選やボランティアや外部機関の連携等は、今後も継続していく必要がある。しかし、まだまだ地域や家庭と連携できる業務もあると思われる。	3.38		3.67	○ 学習支援ボランティアについては、これからも微力ながら児童一人一人に優しく寄り添い、見守り、お役に立てればと思います。 ○ 先生方が時間的にも、気持ちにも余裕ができるように改善されていくことを切に願います。

次年度の方角性について の校長所見	<p>1 本年度の取組について 本年度も、保護者や地域の方々の理解・協力をいただき、学校行事や教育活動に取り組み、「知」「徳」「体」「食」において成果を残すことができた。 特に昨年度に引き続き、地域との連携や働き方改革に力を入れた。地域との連携では、南校区まちづくり協議会、南校区社会福祉協議会と様々な活動を行い、児童に豊かな体験活動を行わせることができた。働き方改革については、「週末宿題の原則廃止」や「学習支援ボランティア」を継続していくことで、児童の学力向上や職員が子どもと向き合う時間が確保できた。時間外勤務の時間も昨年度より減少した。</p> <p>2 次年度への改善に向けて 次年度は、本年度の評価をもとに、保護者、地域と連携を図りながら教育効果を上げる取組さらにを進めていきたい。また、地域との連携、働き方改革については、より一層充実できるように改善等を図っていきたい。そのことが、児童のさらなる成長につながるようにしていきたい。</p>
----------------------	--

令和6年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 4

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切に、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。
令和6年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈食育〉

○ 食に関心をもち、自ら実践する児童の育成

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	保護者評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
食育	1 食に関する指導の推進 「食から始める健康『元気なみやざきっ子』食育推進事業」	<ul style="list-style-type: none"> 「弁当の日」を異学年で交流できたことがよかった。 「弁当の日」の講演や映画鑑賞を行った。その効果として自分で弁当を作る児童が増えてほしいが、まだまだ少ないのが実情である。これからも継続的な取組が必要である。 	3.19	3.65	3.75	<ul style="list-style-type: none"> 「弁当の日」は、継続的な取組が必要だと思います。 「弁当の日」の映画が素晴らしいと聞きました。是非機会があれば、まだ見ていない子どもたちや保護者、地域の方にも鑑賞させてもらえたらありがたいです。
	2 給食の時間の指導の充実 「準備から片付けまで」「偏食」「マナー」「残食」	<ul style="list-style-type: none"> 給食の指導でフロアや学年、学級によって対応の違いが出た部分が多少あった。共通理解したことについては、全校でしっかり取り組む必要がある。 偏食がある児童も、給食で少しずつ食べられるようになっていると感じる。 	3.19	3.64	3.25	<ul style="list-style-type: none"> 給食の残食はとてもよい結果ですが、食事のマナーが気になります。家庭でも、はしの持ち方、感謝する気持ちもしっかり教えることが大切だと思います。
	3 食物アレルギーを有する児童への適切かつ確実な対応 「体制の確立」「対応の徹底」	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギー研修を定期的に行うことで、全職員で共通理解のもと対応できている。 職員の意識が高く、二重、三重のチェック体制になっており、きめ細やかな配慮ができている。 	3.63	3.68	3.50	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の努力でアレルギー児童への適切な対応ができている、保護者の方も安心されていると思います。

令和6年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 3

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。

令和6年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈体 育〉

○ 健康や体力に関心をもち、自ら行動する児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
体 育	1 体力・運動能力の向上 「体育の授業」「課題解決のための取組」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時期に応じて、いろいろな取り組みを全校でできていることが、体力向上につながっている。 ・ 体育専科の細かな仕掛けによって体育や運動を楽しむ児童が増えた。 	3.50	3.65	4.00	○ 体力運動能力テストでは2年連続で県優良校に選出され、素晴らしいことです。体育専科の先生を中心とした努力が実を結んだ結果だと思っています。
	2 姿勢等の指導の徹底 「立腰」「集団行動」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立腰指導については、授業の最初と最後は意識させることができた。 ・ 正しい姿勢を持続することが課題である。特に給食時間の姿勢やマナーが気になる。 ・ 「立腰」での足は床に付けるという指導を全学年で徹底する必要がある。 	3.00	3.64	3.88	○ 立腰については、よい姿勢を維持することがなかなか困難なようです。継続的な指導をお願いします。
	3 家庭と連携した健康教育の推進 「疾病治療」「感染症対策」「フッ化物洗口」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護教諭からの文書を家庭へ配布し、児童を通じて治療に取り組むように指導した。 ・ おし歯治療の保護者の意識は、高いところとそうでないところの差が大きい。 ・ フッ化物洗口は、軌道にのっている。 ・ 手洗い、うがいの呼びかけをしているが、ハンカチやちり紙忘れが多い。 	3.13	3.46	3.33	<p>○ 寒い日でも半袖半ズボンの子もたちがたくさんいます。インフルエンザ等の感染症が流行している時期でも、欠席が少ないように思います。とても素晴らしいです。</p> <p>○ おし歯の治療等は保護者の協力が不可欠です。参観日等での呼びかけも継続的に行っていく必要があると思います。</p>

令和6年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

NO. 2

学校経営
ビジョン

○ 南小学校の伝統を大切にし、児童、教職員、保護者、地域が「自分たちの学校を自分たちでつくる」という当事者意識をもち、次代を生き抜く自立した人材を育てる学校として創意と工夫をこらし、活気ある教育活動を展開する。

令和6年度スローガン 『みんなでつくる みんなの南小学校』

〈徳育〉

○ 思いやりの心を持ち、自ら実践する児童の育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評価	保護者 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
徳 育	1 望ましい生活に関する指導の充実 「きまり」「生活習慣」「礼節」	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの児童は、生活習慣もしっかり身につけている。あいさつは、まだまだ個人差が大きいが、だんだんよくなっていると感じる。家庭環境により基本的な生活習慣が身に付いていない児童もいる。 きまりの部分で少しルーズになったところがあった気がする。もちろん、きまりは児童の実態や時代によって変えるべきものだが、決まったものは全職員で足並みそろえて指導していく必要がある。 	2.94	3.54	3.25	<p>○ 学校内では、特に上級生が挨拶してくれます。運動会前は下級生の子どもたちの挨拶がすばらしかったです。地域の大人から見ると、学校の外でも子どもたちの方から挨拶をしてくれると、大人も気持ちよく安心して挨拶できるので、進んで挨拶して欲しいです。</p> <p>○ 履き物そろえも意識が高まっているようです。家庭環境によりできない児童がいるので、指導をお願いします。</p>
	2 道徳教育・人権教育の充実 「道徳の授業」「情報モラル」「言語環境」	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業は、計画的に進めることができた。 児童同士や教師から児童への「呼び捨て」が気になった。人権教育をしっかり行い、言語環境を整える必要がある。 情報モラル、メディアリテラシーの指導を充実させていく。 	3.13	3.47	3.33	<p>○ 情報モラルに関わる事案が起きたときに、個別指導だけでなく、学校全体で対策を取っていることがよいと思う。</p>
	3 問題行動等に関する指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 不登校やいじめについては、「いじめ不登校対策会議」で、共通理解でき、迅速な対応ができています。 不登校児童の対応については、関係機関とも連携して、支援体制を整える必要がある。 いじめ認知解消がなかなか進まないのが残念であるが、アンケート等をもとに子どもたちの気持ちに寄り添い、不安や悩みを解消している必要がある。 	2.88	3.42	3.38	<p>○ 「いじめ不登校対策会議」を毎月開催されているという事なので、対応が迅速にできて解決につながりやすいと思いますので、よい取組だと思えます。いじめや不登校が解消されることを願います。</p>
	4 主体的な活動の推進 「清掃」「係活動」「委員会活動」「ボランティア活動」	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動はどの委員会も充実していた。 チャイム黙想はしっかりできているが、「自分の清掃場所」という観点では、あまりできていない気がする。 教師も率先して清掃したほうが「後姿の教育」として必要だと思う。 	3.19	3.55	3.33	<p>○ 運動会で子どもたちが生き生きと活動している姿を見て、うれしく思いました。子どもたちの学校への思いを生かした活動を主体的にさせることで、学校への愛着も深まると思います。</p>